

～ シリアル・ルネッサンス～ <http://www.riceisland.co.jp>

今年の新米、水稲作況92の「不良」東北は「著しい不良」

かねてより注目の15年産第1回目の作況指数が発表され、大方の予想通り、全国的に作柄不良となっています。なかでも、北海道、青森、岩手、宮城の4道県はまさに、平成5年産以来の大不作で、地域によっては、5年産よりも悪い作柄の所があるとの事です。毎月作況指数が発表されますが、今年の指数ポイントは今後下がることが予想されます。何故なら今年度産の不作の主因は「不稔粒大発生」によるものであり、不稔粒はこの後天候が良くても、結実することなくそのままであるからです。さらに9月15日現在の調査ではまだ刈取前の成熟期であり、作柄の不良は、ただの「成育遅れ」と評価されているものもあることから、実際に刈取りの進んだ、10、11月の調査では、今の指数よりも下がると予想されます。一部の業者予想では、最終的には「83～90」との見方もでています。

年間需要約870万トンに対して15年産新米は約800～770万トンとなり、不足は100～70万トンと計算されますが、政府古米が約120万トンあることと、来年豊作であれば「新米」早食見込み最大50万トン可能と考えれば、供給に全くの不安は無いこととなります。8月の自主米入札では前年比40%超の値上げとなりましたが、9月26日入

札で下げが始まり、10月入札では相当値戻しになると思われます。

R.I.では、年間安定した価格での販売に努力しており、一喜一憂することなく、先を見つめて皆さまにご信頼いただける価格と品質の追求に努めていきたいと考えております。

幸い本年度産は総量的には不作ながら、品質は良好で、不稔粒発生により正常モミ数が少なかった分、中味が充実していると思われます。9月に入って晴天高温気象が続き、東北・北海道でも同様の成育傾向になっているようです。ここ数年の「高温障害」による品質低下とうって変わり、高品質の米が期待されます。量は少なくとも味は高食味となれば、高価格の有名銘柄新米100%よりは、無名銘柄の新米100%や、有名銘柄米とのブレンド商品がまさにお買得商品となってくるでしょう。

消費者の皆さまへは、お米商品の選択の幅が広がり、より利用しやすくなる一年ともなりそうです。R.I.でも自社精米商品だけでなく、産地精米商品、他社製造商品等、皆さまのご要望にお応えしていくよう、最大限の努力を傾注していくつもりです。

お役立ち情報BOX



<販促物のご案内>

素食生活パネル(ミニサイズ)

サイズ：150×600m / m

商品の説明の際にご利用ください。

ご希望の方はお気軽にお申しつけください。

来週のR.I レポートは、「文藝春秋掲載記事より、現代日本の食卓の崩壊について」です。10/6のお届けです。

e-mailでの発信も承っております。ご希望の方はチェックしてご返信ください

不要の方はチェックしてご返信ください。

FAX 058-252-5115 TEL

御社名

御担当

e-mailアドレス